



CHAPTER 11

Cisco Unified Communications Manager ユーザを使用して複数の Cisco Unity Connection 8.x ユーザ アカウントを作成する方法

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 (Cisco Unified CMBE 構成のみ)」 (P.11-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection 8.x ユーザの作成 (Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.x 以降)」 (P.11-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x と LDAP ディレクトリの統合と、Cisco Unified CM からのデータのインポートによるユーザ作成との比較」 (P.11-3)

Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 (Cisco Unified CMBE 構成のみ)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition 構成のシステムに Cisco Unity Connection ボイスメール ユーザを追加するには、Cisco Unified Communications Manager からユーザをインポートします。

Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] ページで Cisco Unified Communications Manager ユーザからボイスメール アカウントのある複数のユーザを作成します。また、ボイスメール アカウントのないアプリケーション ユーザを Connection にインポートできます。



(注)

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、事前にプライマリ内線の定義が必要です。定義されていないユーザは、Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] に表示されません。

この方法でユーザ アカウントを作成すると、Connection によって Cisco Unified CM からユーザのエイリアス、内線番号、名、姓が取得され、その他の情報はユーザによって指定されたユーザ テンプレートで補足します。Cisco Unified CM から取得したフィールドのデータは、Connection の管理を使用して変更できません。代わりに、Cisco Unified Communications Manager Administration で情報を変更します。

[ユーザを同期化 (Synch Users)] ページでは、[ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して作成したボイスメール ユーザに関する Cisco Unified CM の情報を手動でリフレッシュできます。

Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection 8.x ユーザの作成 (Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.x 以降)



(注)

ここでの説明は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) で Cisco Unity Connection ユーザ アカウントを作成するのに Cisco Unified Communications Manager をインポートする場合には該当しません。この場合は、「[Cisco Unity Connection 8.x ボイスメール ユーザの追加 \(Cisco Unified CMBE 構成のみ\)](#)」(P.11-1) を参照してください。

Connection では、Cisco Unified Communications Manager データベースにアクセスする場合、AXL サーバが必要であるため、インポート元の Cisco Unified CM サーバに AXL サーバを構成しておく必要があります。

ユーザをインポートする前に、Cisco Unity Connection サーバで次の手順を実行してください。

- ユーザ テンプレートを編集または追加します。テンプレートの [電話システム (Phone System)] フィールドでインポート元の Cisco Unified CM サーバを選択します。
- ユーザのインポート元の Cisco Unified CM サーバに AXL サーバを構成します。AXL サーバの構成の詳細については、『[System Administration Guide for Cisco Unity Connection](#)』(Release 8.x) の「[Managing the Phone System Integrations in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html から入手可能です。

Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] ページで Cisco Unified CM ユーザからボイスメール アカウントのある複数のユーザを作成します。



(注)

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、事前にプライマリ内線の定義が必要です。定義されていないユーザは、Cisco Unity Connection Administration の [ユーザ (Users)] > [ユーザをインポート (Import Users)] に表示されません。

この方法でユーザ アカウントを作成すると、Connection によって Cisco Unified CM からユーザのエイリアス、内線番号、名、姓が取得され、その他の情報はユーザによって指定されたユーザ テンプレートで補足します。Cisco Unified CM から取得したフィールドのデータは、Connection の管理を使用して変更できません。Connection のデータを更新するために使用する方法は、Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されているかどうかに応じて異なります。

- *Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されていない場合* : Cisco Unified Communications Manager Administration のデータを変更し、Connection の管理の [ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用して、[ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して作成されたボイスメール ユーザの情報を Cisco Unified CM から手動で更新する必要があります。

- Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されている場合 : LDAP ディレクトリのデータを更新し、Cisco Unified CM データベースを LDAP ディレクトリと再同期し、Connection の管理の [ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用して、[ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して作成されたボイスメール ユーザの情報を Cisco Unified CM から手動で更新する必要があります。

Cisco Unity Connection 8.x と LDAP ディレクトリの統合と、Cisco Unified CM からのデータのインポートによるユーザ作成との比較

データを Cisco Unified Communications Manager からインポートしてユーザを作成する代わりに、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 8.x with an LDAP Directory](#)」の章で説明されているように、Connection を LDAP ディレクトリと統合し、ユーザデータを LDAP ディレクトリからインポートする方法があります。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html から入手可能です。次の点に注意してください。

- Cisco Unified CM からユーザをインポートした場合、および Cisco Unified CM が LDAP ディレクトリと統合されている場合、Connection では自動的に LDAP の同期化または認証へのアクセスが許可されることはありません。Connection ユーザを LDAP ディレクトリで認証する場合は、Connection を LDAP ディレクトリとも統合する必要があります。
- Cisco Unified CM からユーザをインポートする場合は、Cisco Unified CM データへの更新が自動的に Connection サーバに複製されることはないため、Cisco Unity Connection Administration の [ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用して、随時 Connection ユーザデータを Cisco Unified CM ユーザデータと手動で同期する必要があります。Connection を LDAP ディレクトリと統合する場合は、Connection データベース内のデータが LDAP ディレクトリ内のデータと自動的に再同期される日時を指定する、同期スケジュールを定義できます。

LDAP ディレクトリにユーザを追加する場合は、Connection に手動でインポートする必要があることに注意してください。自動同期で Connection データベースが更新されるのは既存のユーザの新しいデータの場合だけで、新しいユーザの新しいデータの場合は更新されません。

- Connection を LDAP ディレクトリと統合する場合は、LDAP データベースで Web アプリケーションのパスワードを認証するよう、Connection を設定することができます。Cisco Unified CM からデータをインポートするときは、Connection で Connection Web アプリケーションのパスワードを保持し、Cisco Unified CM で Cisco Unified CM Web アプリケーションのパスワードを保持する必要があります。

